

事業所名

つみき第1

支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念		「ゆっくりでも確実に、共に歩んでいく」視点を大切に、「ホッとできる場」であるよう心がけながら、個々の特性に応じた支援と余暇の充実をはかる。		
支援方針		利用者個々の発達特性を多面的にとらえ、中長期的な視点で無理のない計画をたて、個に応じた多様性のある支援を行う。		
営業時間		【平日】13:00～17:00 【学校休業日】11:00～17:00	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	公園遊び・散歩・ラジオ体操等、屋内外で健康的に身体を動かす。身支度や排泄等、基本的日常生活に必要な訓練を行う。公園遊び・散歩等、屋内外で健康的に身体を動かす。生活リズムの安定や自立した生活を送ることができるよう気を配る。		
	運動・感覚	ダンス・運動あそび・リトミック等、ボディイメージを豊かにする。道具を用いた工作等により、手指の動きや感覚を養う。年齢に応じて、手あそび・歌あそび・ふれあい活動等、スキンシップを中心に楽しく身体を動かし、触覚・視覚・聴覚等の心地よい刺激に親しむ。		
	認知・行動	集団生活の場であることを意識し、周囲の状況に合わせて場面ごとに適切な行動がとれるよう支援する。職員や友達と過ごす場であることが意識できるよう、場面や状況に合わせた言葉掛けを行い、積極的にかかわりをもつ。		
	言語コミュニケーション	言語・非言語によるコミュニケーションの基本を積み重ね、挨拶や相互のやりとりを積極的に行う。		
	人間関係社会性	あらゆる活動を通して、職員との信頼関係を築き、友達と友好的にかかわり、遊び、ともに過ごす経験を積み重ねる。		
家族支援		日々の申し送り・個別面談・保護者会等を通して、子育てに関する困りごとや兄弟との関係等、ざっくばらんに相談できるような関係性を築く。発作や体調の変化等に関して密に連絡を取り合う。	移行支援	卒後の進路も見据えて、地域で理解され生活していくことを念頭に、施設近隣で散歩・散策・買い物等を行う。必要に応じて卒後の利用施設との情報共有を行う。
地域支援・地域連携		近隣で行われるお祭りやイベントに参加する等、近隣住民との交流をはかる。災害時の避難場所となるような施設・公園を日常的に利用し、地域の中で受け入れられ理解されることの促進をはかる。	職員の質の向上	外部講師を招くものも含めた各種研修の充実や、各種委員会を構成することにより、資質の向上に努める。
主な行事等		遠足 運動会 保護者会 ファミリー・コンサート 周年行事		